

令和3年度第1回焼津市多文化共生推進協議会議事録

日 時	令和3年8月2日（月）午前9時30分から11時
場 所	焼津公民館 会議室5・6（アトレ庁舎3階）
出席委員	高畑 幸会長、鈴木和子委員、佐野清志委員、多々良智彦委員、小池清司委員、小長谷 恭彦委員、津田レヤ キノネス委員、ヤンジカ ソラ委員、小林ミーハン委員、平野一恵委員、須方正和委員
事務局	市民環境部長、市民協働課長、職員3人

会議内容

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 市民環境部長あいさつ
- 4 委員自己紹介
- 5 正副会長選出
会長：高畑 幸、副会長：鈴木和子
- 5 会長挨拶
- 6 多文化共生について講義（会長より）
- 7 意見交換
- 8 閉会

〔資料内容〕

- 資料1 焼津市多文化共生推進計画
資料2 講義用資料

〔会議概要〕

(1) 焼津市多文化共生推進計画の説明

本来であれば、年度当初に進捗状況の報告をもらい、次年度事業へ反映させていくべきだが、2月上旬に各課・団体から報告をもらい、第2回目の協議会で、委員の意見を取りまとめる。

(2) 基調講話～焼津市における多文化共生社会の推進について～

- ・高畑会長からの講話

(3) 意見等の特記事項

【小林委員】防災訓練を実施しているが、アパートの駐車場に集まるだけとなっている。風水害が発生した場合、避難する場所が全く分からない。

【鈴木委員】近所の人と交流がないのか。町内会長・組長に聞けないのか。アパートに住んでいる人は、大家さんに聞いてはどうか。

【佐野委員】港地区は、水産加工団地の責任者と地域の防災担当と連携がとれている。

【高畑会長】防災は、共通の話題である。国籍は関係ない。避難所等の情報の周知方法を検討必要。(ゴミステーションに掲示するなど)

【ツダ委員】団地では翻訳されていない手紙が多かったが、最近は翻訳されている。避難場所について、すみれ台団地は高い建物であり、屋上には県が手摺りをつけた。避難＝屋上であるため、最近では訓練に参加しない人が多い。

【佐野委員】計画にある、在住外国人の市内地域別分布図において、地区別でまとめてあるが、できれば中学校区ごとに表示してもらった方が、自治会として把握しやすいので、検討してほしい。

・計画の重点目標にもあるが、地域の情報を発信したいが、自治会に登録していない外国人住民がいる。「世帯家族調べ」の言語を増やした方がいい。

【小長谷委員】支援対象児童生徒がコロナ前より、急激に増加している。焼津市は外国人児童生徒支援員の登録者数は51人で、他市より多い状況であるが、事前研修が必要であること、加配教員数に限りがあることから、教育委員会の現場だけでは、指導に限りがある。市をあげて対応すべきである。(焼津市22校区のうち、豊田中学校以外全ての学校で支援が必要)

※次回は、計画に関係する部署等に対象に進捗状況や課題・対策の調査を行い、第2回目の協議会において点検・評価を行う。